

長崎県「学びの活性化」プロジェクト ～すべての子供の可能性をひらく「学びに向かう力」の育成～

「学びの習慣化メソッド」骨子

令和3年度全国学力・学習状況調査の分析から、「家庭において自分で計画的に学習に取り組むこと」の重要性が明らかになりました。学校と家庭・地域が連携して、子供の「学びの習慣化」に取り組み、本県児童生徒の「学びに向かう力」を育成することが大切です。

家庭学習の内容充実

自分で計画して取り組む家庭学習

- 学校からの宿題 ○自主的に取り組む家庭学習
- (例) 反復練習(漢字、計算、音読) 予習 復習 並行読書
調べ学習 得意分野の伸長、苦手分野の克服 等

1人1台端末の活用

新聞・図書の活用

AIドリルの活用

「学びに向かう力」
の涵養

子供



家庭学習の時間の確保

時間帯の設定

- 生活リズムに合わせた設定
- (例) 帰宅後 夕食後 早朝 等

家庭学習時間のめやす(学習塾、読書も含む)

小学生 平日1日平均	中学生 平日1日平均
低学年: 30分 ~ 1時間	1年生: 2時間 ~ 2時間半
中学年: 1時間 ~ 1時間半	2年生: 2時間 ~ 2時間半
高学年: 1時間半 ~ 2時間	3年生: 2時間半 ~ 3時間

授業の改善・家庭学習の指導

学校

連携

家庭・地域

家庭学習の充実に向けた支援

子供が主体的に学ぶ授業づくり

- 「長崎県授業改善メソッド」を活用した授業改善
・読解力の育成 ・ICTの活用
- 家庭学習へつなげる授業づくり

家庭学習の指導と支援

- 家庭学習の内容や進め方の指導
(例) 「家庭学習の手引き」などの見直し 適切な課題の提示 等
- 家庭学習の取組を見直す機会の設定
(例) 教師による働きかけと支援 子供の自己評価、相互評価 等

家庭での学習環境・ルールづくり

- (例) 早寝、早起き、朝ごはん メディアの利用時間
学習スペースの確保 家族10分間読書
体験的な学習、遊びの機会の提供 励ましや賞讃 等

地域での学習環境づくり

- 学習する場の提供
(例) 公民館の開放 等
- 学習支援
(例) 放課後の学習会のサポート 等